

教育・研究業績書

センター名 大学病院超音波センター		
<教員の紹介> 准教授 高田悦雄		
I 教育活動		
教育実践上の主な業績	年月	概要
①□ 教育内容・方法の工夫（授業評価を含む）		
1. 学生の授業参加意識向上の取り組み	2004年5月～現在	超音波センター単独の講義はないが、第一外科及び臨床検査医学でそれぞれ1時限ずつ講義を担当している。 講義では超音波医学の基礎から理解し実際の超音波画像を多く供覧し興味が持てるよう配慮している。 BSLでは、臨床検査医学分は理解を深めるカンファレンス形式とし、第一外科分は検査室で実際に検査を見ながら臨床例に触れるよう配慮している。
② 作成した教科書、教材、参考書		
乳房超音波診断ガイドライン（第1版）	2004年6月～現在	共著にて出版した本書を参考書としている。
乳房超音波診断ガイドライン（第2版）	2008年5月～現在	
③ 教育方法・教育実践に関する発表、講演・その他教育活動上特記すべき事項		
1. 第17回日本乳腺甲状腺超音波診断会議、特別講演 ユビキタス JABTS.	2006年～現在	研究や学会発表でのIT活用について講演した。
2. 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第2回新潟セミナー 特別講演 超音波再入門、	2007年3月～現在	既に超音波検査を行っている検査技師・医師への再教育を行った。
3. 第67回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会学術集会 会長講演 超音波集検の記録方法	2007年9月～現在	超音波集団検診での効率の良い画像記録方法について講演した。

<p>4. 日本超音波医学会関東甲信越地方会第19回学術集会 会長講演 超音波医学との出会い.</p>	<p>2007年10月～現在</p>	<p>超音波研究を始めるきっかけとなった出会いについて講演した。</p>
<p>5. 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第3回新潟セミナー 特別講演 胆嚢</p>	<p>2008年3月～現在</p>	<p>胆嚢の超音波検査についての注意点について講演した。</p>
<p>6. 日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会第4回新潟セミナー 特別講演 乳癌 超音波検診と自動スキャナ</p>	<p>2009年2月～現在</p>	<p>検査担当者の技量に頼らない自動スキャナの必要性について講演した。</p>

教育・研究業績書

センター名	職名	氏名	
大学病院超音波センター	准教授	高田 悦雄	大学院の研究指導担当資格 有
Ⅱ 学会等および社会における主な活動			
1984年 4月～現在	日本超音波医学会 医用機器と安全に関する委員会幹事および委員		
1996年 4月～現在	日本外科系連合学会 評議員		
1996年 5月～現在	日本消化器がん検診学会 評議員・企画調整委員・超音波部会代表世話人		
1996年 6月～現在	日本超音波医学会 評議員(代議員)		
1998年 4月～現在	日本超音波医学会 関東甲信越地方会運営委員		
2001年 10月～2008年 4月	日本乳腺甲状腺超音波診断会議 理事・国際委員会委員長		
2002年 6月～2004年 5月	日本超音波医学会 教育委員会委員		
2006年 8月～現在	日本乳癌検診学会 評議員		
2007年 4月～現在	日本乳癌検診学会 乳房超音波検診精度管理委員		
2008年 6月～現在	日本超音波医学会 精度管理手法に関する小委員会委員		
2008年 10月～現在	日本超音波医学会 研究開発促進委員会		
Ⅲ 研究活動			
【学位論文】			
【著 書】			
和文			
1. 高田悦雄: 乳房超音波診断ガイドライン改訂第2版. (日本乳腺甲状腺超音波診断会議編), 1-140, 2008.			
2. 高田悦雄: 診断装置の設定. 「実践 乳房超音波診断」(植野映編) 第1章. 12-13, 2007.			
3. 高田悦雄: 乳房超音波診断ガイドライン改訂第2版. (日本乳腺甲状腺超音波診断会議編), 1-140, 2008.			
4. 竹原靖明, 高田悦雄, 安田秀光: USスクリーニングの実施条件, 「USスクリーニング」. (竹原靖明編), 第3章 43-48, 医学書院 2008.			
【原 著】			
欧文			
1. Takada E, Kudo N, Endoh N, Hachiya H, Takeuchi S, Tsuchiya T, Natori M, Yamaguchi K: Does contrast ultrasonography damage liver cell? International Congress Series 1274: 147-150, 2004.			
2. Ikedo Y, Fukuoka D, Hara T, Fujita H, Takada E, Endo T, Morita T: Computer-aided detection system of breast masses on ultrasound images. SPIE Medical Imaging 6144: 51-58, 2006.			
3. Tohno E, Sawai K, Shimamoto K, Ueno E, Endo T, Tsunoda-Shimizu H, Shirai H, Takada E: Establishment of seminars to improve the diagnostic accuracy and effectiveness of breast ultrasound. J Med Ultrasonics 33: 239-244, 2006.			
4. Takada E, Ikedo Y, Fukuoka D, Hara T, Fujita H, Endo T, Morita T: Computer-assisted detection system for breast cancer mass screening. SPIE Medical Imaging 6513: 101-108, 2007.			

- Ikedo Y, Fukuoka D, Hara T, Fujita H, Takada E, Endo T, Morita T: Development of a fully automatic scheme for detection of masses in whole breast ultrasound images. Med Phys 34: 4378-4388, 2007(IF: 3.198).
- Takada E, Chang RF, Shen WC, Ho YC, Moon WK, Nakajima M, Kobayashi M: Computer-aided diagnosis of breast elastography. Dokkyo J Med Sci 36, 2009.

和文

- 池戸祐司, 福岡大輔, 原武史, 藤田広志, 高田悦雄, 遠藤登喜子, 森田孝子: 全乳房超音波画像における腫瘍像自動検出システムのための左右乳房画像の比較による偽陽性削除法. 電子情報通信学会論文誌 91: 1923-1926, 2008.

【症例報告】

【総 説】

欧文

- Ikedo Y, Morita T, Fukuoka D, Hara T, Fujita H, Takada E, Endo T: Computerized classification of mammary gland patterns in whole breast ultrasound images. Digital Mammography, Lecture Notes in Computer Science 5116: 188-195, 2008.
- Lee G, Fukuoka D, Ikedo Y, Hara T, Fujita H, Takada E, Endo T, Morita T: Classification of benign and malignant masses in ultrasound breast image based on geometric and echo features, Digital Mammography, Lecture Notes in Computer Science 5116, 433-439, 2008.
- Hara T, Fukuoka D, Ikedo Y, Takada E, Fujita H, Endo T, Morita T, Development of whole breast ultrasound viewer and automated mass detection system, Digital Mammography, Lecture Notes in Computer Science 5116, 455-462, 2008.

和文

- 高田悦雄: 超音波集検画像のデジタル保存. 第41回日本消化器集団検診学会大会記念誌-消化器検診におけるITの活用-. 71: 75, 2004.
- 藤本泰久, 高田悦雄: ネパール王国における乳癌診療の現況 -JABT国際委員会ネパール派遣団報告-. 日本乳癌検診学会誌 15: 155-159, 2006.

【そ の 他】

和文

- 高田悦雄: 超音波イメージングが拓く新しい世界. Innervision 21: 75-79, 2006.
- 高田悦雄, 林光弘: 乳腺疾患の診断. Innervision 22: 37-40, 2007.